

クローズアップ支部Vol.8

『私たちの広島支部を紹介します』

通教を補完する学習会を積極展開

小原支部長にインタビュー

Q1. 広島支部の歩みと特徴についてご紹介ください。

広島支部は平成15年8月に広島県を中心とした中国地方在住の15名が発起人となり発足しました。早いもので10年を迎えました。初代支部長は丸本好正さんです。私は丸本さんからバトンを引き継ぎ二代目の支部長になりました。

これまでの広島支部の歩みは、学習会の歩みです。平成13年当時、簿記原理の単位取得が大学卒業要件でしたが、多くの学生が単位取得で悩んでいたとき、簿記原理対策の学習会を開催したのが最初でした。それから、学生会として学習会を続け、卒業後は元学生会の主要メンバーが発起人となり、校友会の広島支部を設立しました。年4回の学習会を開催し、12年間で延べ46回になりました。

この学習会は、学生会、校友会のみならず、有料ですが経営士会、地元の大学、会社の知人や同僚へと参加資格を広げてきました。学習会が入学者の獲得と異業種交流の場となっています。講師陣は卒業生、経営士会、地元の大学や企業等で活躍されている方々にお願いし、さらに人脈が広がっています。



Q2. これまでの活動で一番の盛会とその反応をお聞かせください。

一番うれしかったのは、広島で開催された入学説明会に校友会として応援に行ったとき、2人の女性の方が入学について悩んでおられました。学習会を紹介したところ、すぐに次の学習会に参加され安心されたようで、その後入学され2年間で、この秋には短大を無事卒業されました。

通信教育課程はどうしても孤独になり、大学が首都圏にあるため、地方の学生は不安なものです。そこで、参加者から校友

会活動や学習会開催に参加すれば、いつでも共に学ぶ仲間や先輩方にお会いでき、ふたたび元気になって勉強を続けられるというご意見をいただいたときは、学習会の開催を12年間続けて本当によかったと思いました。

Q3. 課題と今後の支部の方向についてお聞かせください。

学習会の参加者は安定していますが、中心的に活動するメンバーは限定されています。もっと、若いメンバーの方に積極的に参加してほしいですし、ひとりの参加者としてではなく、主催側になるメンバーを求めています。

産業能率大学の通信教育課程は、主に学び直す社会人のための教育機関であると捉えております。私たちに素晴らしい教育プログラムを提供してください。

しかし、地方の学生にとって通信教育課程には一定の限界があります。その限界とは、人的つながりの不足だと思えます。それを補うため広島支部では、校友会支部、大学、学生会を3本の矢として地方における社会人学生教育支援プログラムを推進しております。

学び直す社会人学生のために、産業能率大学の通信教育課程では行き届かない点を補完すべく人的つながりを支援していきたいと思っています。

今回、クローズアップする支部は広島支部です。支部長は小原啓子さんです。

広島支部は学生会と連携しながら定期的な学習会の開催に力を注ぎ、活発な支部活動を展開しています。また本部分行事への参画など、積極的に校友会活動をバックアップしていただいております。



Q4. 校友会本部と母校に対し要望などがあればお聞かせください。

産業能率大学には、社会人に対して働きながら「経営学」という学問に触れる機会を与えていただき感謝申し上げます。

地元からも毎年、多くの社会人が入学され、校友会と学生会との交流の中で、人生を語りながら学業と仕事に大きく反映させる機会を得ています。学生でありながら、異業種との交流が普通に行えるチャンスは、普段はそう多くはありません。

情報は、時間と共に拡大しそのスピードを速めます。情報発信の拠点として、大学は中核にいていただきたいと期待いたします。

—ありがとうございます。貴支部のさらなる発展を願っています。

(取材：広報部会 村本幸弘)

プロフィール 小原支部長のサイドフェース (写真右)



仕事：歯科医療界向けの経営コンサルタント
 住 宅：広島市
 生 年 月：1959年7月
 趣 味：映画鑑賞
 卒業年月：2004年3月

一 言：私どもの支部において角田崇文事務局長の存在なくして支部の存在はありません。この場をお借りして感謝申し上げます。

支部会員が語る小原さんの人物像とは!?

小原さんは、仕事も学問も常に問題意識を持って、とことん取り組まれる方です。最初の出会いは歯科衛生士のキャリアアップのための小さな勉強会の発足からでした。そのときから、さまざまな業界の方の話を聞き、歯科業界を見つめ直しながら、このままではいけないことをよく語り合っていました。

今では会社を設立され歯科医療界のみならず、関わる人への生きる喜びを提供できるようになりました。私は昨年より小原さんのコンサルタント事業に加わり、組織変革と人材の育成と一緒に関わらせていただき、たいへん充実した日々を過ごしています。何事においても探求を怠らず、創造性に優れた事業展開をされることに、いつも尊敬しております。

(記：広島支部 畠山 知子 (写真左))